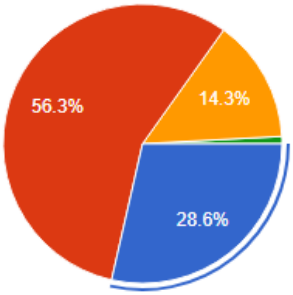
令和8年度　保護者アンケート（中間評価）結果【回答数119】

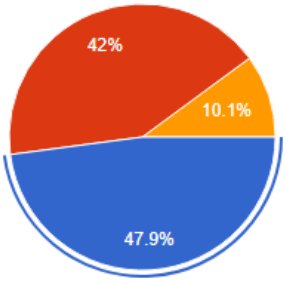
ご回答いただきありがとうございました。次回年度末評価は 12 月です。

● よくあてはまる　● あまりあてはまらない
● ややあてはまる　● まったくあてはまらない

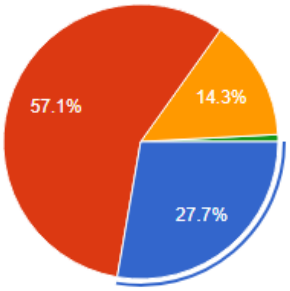
① 学校は、児童の良さを見つけ、願いに応えた学びの環境づくりに取り組んでいる。



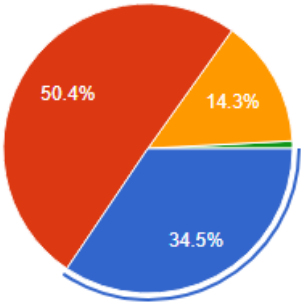
② 学校は、児童の良さを見つけ、願いに応えた学びの環境づくりに取り組んでいる。



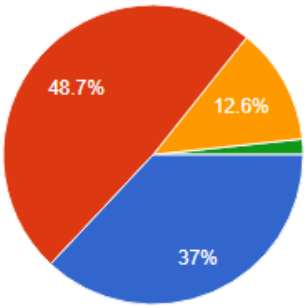
③ 学校は、学校だより、学年だより、学級通信等の発行、学校ホームページの更新、メール配信等で、学校からの連絡や様子を積極的に情報発信している。



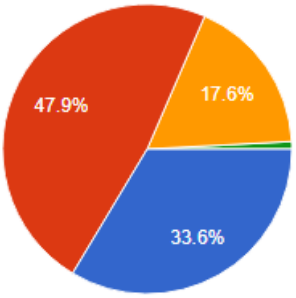
④ 学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて話し合いの場面を設定し、お互いに認め合う雰囲気づくりをしながら授業改善に取り組んでいる。学校は、児童が学習に意欲的に参加できるよう、わかりやすく、興味がわくような授業づくりに取り組んでいる。



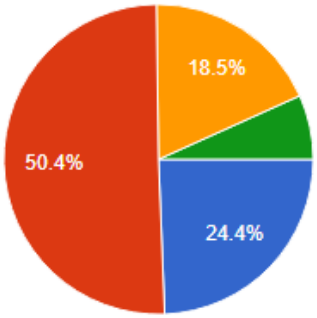
⑤ 学校は、児童に思いやりや規範意識を育てるために、体験活動の充実と道徳教育の充実に取り組んでいる。学校は、児童生徒の豊かな心の育成に向けて、読書活動の推進に取り組んでいる。



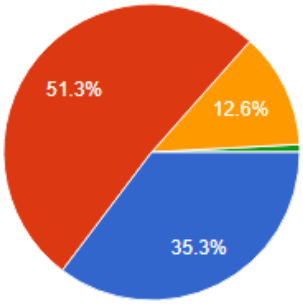
⑥ 学校は、問題行動やいじめ、不登校に関して、保護者と連携を図り、早期発見・早期解決に向けて積極的に取り組んでいる。



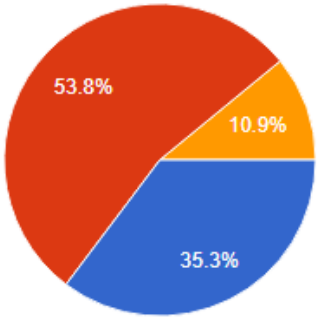
⑦ 学校は、運動会、体育の授業の他、体を動かすことができる時間と場をつくり、児童の体力向上に取り組んでいる。学校は、児童が自分の健康を考えて、生活ができるよう、食育や生活習慣、性について、薬物についてなどの健康安全活動に取り組んでいる。



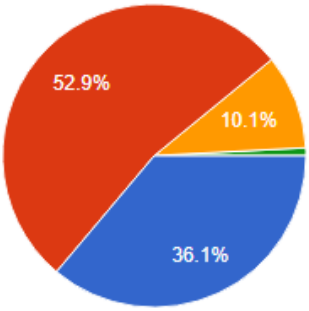
⑧ 学校は、とうべつ未来学を中心に、ふるさとの良さを実感するための学習やコミュニケーション能力の向上、自主性・社会性を培う活動に取り組んでいる。



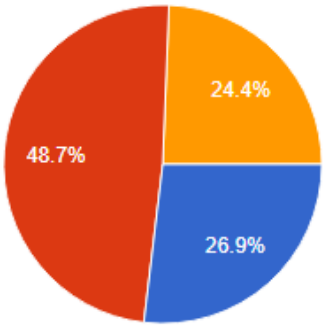
⑨　学校は、小中一貫教育の充実に向け、特色あるプログラムに取り組んでいる。（中学校登校、部活動体験、中学校教論による授業など）



⑩　学校は、とうべつ未来学を中心に、ふるさとの良さを実感するための学習やコミュニケーション能力の向上、自主性・社会性を培う活動に取り組んでいる。



⑪　学校は、小中一貫教育の充実に向け、特色あるプログラムに取り組んでいる。（中学校登校、部活動体験、中学校教論による授業など）



主な自由回答　および　学校からのコメント

・低学年の子どもたちだけでサツドラやコンビニで買い物している姿を見かけます。禁止であることをわかっているのかいないのか、もう少し詳しく指導してほしい。

➡放課後の過ごし方は、基本的にはご家庭での指導となりますが、改めて指導部通信等での啓もうと、学級指導で意識を高めます。

・宿題は先生によって方針が毎度異なるのでそのたびに取り組み方を変えなければならない。家庭学習をやるように言っても親からだと聞かないので強めに言ってほしい。クロームブックの使用方法、必要性に疑問を感じる。

➡宿題・家庭学習の基準は年度当初に「家庭学習のてびき」を配信していますので、ご確認ください。クロームブックの使用にかかわっては、学年ごとに改めて使用場面を確認・指導をいたしました。今後とも、ご家庭でのご理解・ご協力をお願いします。

・平和で安心できる学校生活、授業時間を望む子の権利を守っていただきたいです。クラスの問題だけではなくなっていると思います。

➡5 年生の指導体制は、夏休み前に説明会を開いて説明いたしました。担任 1 週間交代制・教科担任制を取り入れ、学年全体の教育活動の質の向上に取り組みます。

・とうべつ学園は短縮日課がないことを聞いて、西当別小学校との違いがなぜあるのか知りたい。授業時間が少ないのでは？

➡短縮日課という名称ですが、授業時間を減らしているわけではありません。週 2 回休み時間を調整しながら、余白を生み出す日課になっています。

・卒業アルバムは、お忙しい中ご尽力いただきとても感謝しております。未来へのバトンの冊子斡旋販売を行うことにしてくださり、費用も抑えられ手元に写真が残せるのでよかったです。

➡未来へのバトンについては、様々なご心配をおかけしました。次年度以降も、できる範囲でこのような形での斡旋をしていきます。